

令和7年度  
入学試験問題

第1回

国語

- 1 問題用紙は監督者かんとくしゃの指示があるまでは開いてはいけません。
- 2 開始のチャイムが鳴ったら、最初に問題用紙と解答用紙に受験番号と氏名を記入して下さい。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。
- 4 記述で答える問題は、特に指定のない場合、句読点くとうてんや符号ふごうは一字として数えるものとします。
- 5 問題は1ページから16ページまであります。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

森村学園中等部

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

※ 問題作成の都合上、文章の一部を省略したところがあります。

(注) \* 紋切り型<sup>もんきりがた</sup>……物事のやり方が一定の型におさまっていること。

問一 ――①「この考え」とありますが、それはどのような考えですか。その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 動物は言語を使って考えることができず、本能に基づいた一定の行動しかとれない生き物なのだという考え
- イ 言語を使えるヒトだけが自己の存在を認識でき、言語を持たない動物は自分が自分だと認識できないという考え
- ウ ヒトは精神と肉体からなっており、ヒトは言語を持っていることによってころがあるのだという考え
- エ 動物が、ヒトと同じような「ころ」を持っているのかという問いに答えるのは、かなり難しいという考え

問二 ――②「鏡像自己認知の研究にホンソメを使ったのには理由がある」とありますが、それはホンソメにどのような特徴があるから

- ア ホンソメは、体を擦りつけて寄生虫を取ろうとするから。
- イ ホンソメは、体の表面についたシミを意識する傾向があるから。
- ウ ホンソメは、寄生虫のような模様を気にする性質があるから。
- エ ホンソメは、体表をチェックするように鏡を見る習性があるから。

問三 ――③「マークテストを行なった」とありますが、「マークテスト」の方法とねらいを次のような表にまとめた場合、

( X ) ・ ( Y ) にあてはまる説明として適当なものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

方法	ねらい
印をつけないで鏡を見せる。	( X )
印をつけただけで鏡を見せない。	鏡を見て、寄生虫に似た茶色い印を擦るのか、検証するため。
茶色い印をつけて鏡を見せる。	( Y )

- ア 体を擦ったあとに、印が取れたかどうか確かめる行動をとるのか知るため。
- イ 印による痒みや痛みの刺激で擦るのではないことを、検証するため。
- ウ 鏡があっても印がなければ擦らないことを確かめるため。
- エ 砂や石で印をどのように落とすのかということ調べるため。

問四 ——— ④「青と緑色の印で実験した」とありますが、「青」と「緑」の印をつけて実験したのは何のためですか。「寄生虫」「茶色い印」という言葉を使って、その目的を五十字以上六十字以内で説明しなさい。

問五 A・B にあてはまる語として適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア さらに      イ たとえば      ウ だから      エ つまり      オ それとも

問六 ——— ⑤「鏡像自己認知のやり方がヒトと魚で同じだったのだ」とありますが、ヒトと魚は何をもとに鏡像自己認知をすると考えられますか。漢字一字で答えなさい。

問七 ——— ⑥「ヒトの社会行動とその基本はかなり似ている」とありますが、ホンソメと似ている「ヒトの社会行動」の具体例として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 階段で転んだ人が持っていたかばんを落としてしまったので、かばんを拾ってあげる。  
イ 同窓会でほかの友だちよりも目立つために、カラフルなワンピースを着て出かけていく。  
ウ 自分より絵が上手なクラスメートに負けないように、絵画教室に通って腕をみがいている。  
エ 駅で偶然出くわした会社の上司に、何度もおじぎをして丁寧にあいさつをする。

問八 ——— ⑦「魚のホンソメにはこころがあると言えるのだ」とありますが、なぜ、ホンソメにこころがあると言えるのか、その理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 個体の外見や自分との関係がイメージでき、また、ねらいをもって行動することができるから。  
イ 自分が自分であるとわかり、さらに他者からの自己のイメージを想像することができるから。  
ウ 寄生虫に似た模様やシミに注目でき、さらに自分の体を清潔に保とうとする意識があるから。  
エ 自分が相手とは異なる存在だと認識でき、また、自分の気持ちを相手に伝えようとするから。

問九 本文の内容を述べた次の説明文の中から、**適当でない**もの一つを選び、記号で答えなさい。

- ア 筆者は、魚は賢いと考えていたが、ホンソメの実験結果は想像を上回るもので、大きな衝撃を受けた。
- イ 鏡に映る自分の姿を、どのようにして自分だと認識できるのかは、チンパンジーに関しては証明されていない。
- ウ 複数のメスが一匹のオスと暮らしているホンソメは、異性に気に入られるような社会的振る舞いをする。
- エ 鏡像自己認知をしたホンソメは、見たことのない他の個体の写真は攻撃するが、自分の写真は攻撃しない。

問十 本文の論の進め方の説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 従来の見解と異なる筆者の仮説をあげ、それを検証する実験を示し、そこから明らかになった結論を述べている。
- イ チンパンジーに関する先行論文と、ホンソメの実験との比較を軸に、新しい主張を展開している。
- ウ 近代哲学の考えを紹介し、具体的な実験結果をもとに、その考えの正当性を裏付けている。
- エ 多様な実験を通して、ホンソメと人の相違点と共通点を明確にしながら、今後の研究課題を提示している。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

問一

~~~~~ a 「意表を突かれて」・~~~~~ b 「毒舌を吐いた」について、それぞれの意味として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

a 「意表を突かれて」

ア 信頼していたのに裏切られて

イ 思いもよらない出来事に驚いて

ウ 油断していたら出し抜かれて

エ 予想外の幸運がいきなり降ってきて

b 「毒舌を吐く」

ア 容赦なく相手をやりこめる

イ 相手を意図的に傷つける

ウ 遠慮せずに正しいことを主張する

エ 手きびしい皮肉や悪口を言う

問二——①「自分の内なる声が聞こえた」とありますが、このときの「伊澄」の説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 学級委員に立候補はしたものの、そんな大それた役目が無気力な自分に務まるだろうかと、急に不安にかられている。
- イ 学級委員に誰も立候補しない状況を打ち破るために手を挙げたが、自分のキャラに合わないことに気づき後悔している。
- ウ 学級委員に立候補したことが自分でも思いがけず、それは自分の本意ではなかったはずなのにと自分自身に問いかけている。
- エ 学級委員に立候補してみて、自分にもそのような積極性があることに初めて気づき、自分の意外な一面に戸惑っている。

問三——②「どうして二人して、もう決定したみたいに話してるんだ。」とありますが、ここから読み取れる「伊澄」の心情の説明として、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 武井の立候補で教室の雰囲気が一変し、このままでは学級委員が武井に決定してしまいそうだとあせっている。
- イ まるで六花の存在を無視するかのようになり、矢地が武井と二人だけで話を進める様子に違和感を覚えている。
- ウ 六花に対しては冷たい態度をとっていた矢地が、武井には優しく接しているのを不公平だと腹を立てている。
- エ 矢地が独断で武井を学級委員に決めてしまったら六花が傷つくのではないかと、六花を気づかっている。

問四——③『いえ。もし武井さんがよければ、武井さんが委員になってください』とありますが、このセリフを音読する場合、どのよう

- ア 自分の代わりに武井が学級委員になることを心から祝福するようになり、ことさらに明るい口調で読む。
- イ 自分が辞退しなければならぬ悔しさを押し殺して、自分自身を納得させるような静かな口調で読む。
- ウ 自分が学級委員になれなかったのは武井のせいだと遠回しに責めるような、皮肉を込めた口調で読む。
- エ 自分が辞退することに迷いや未練がないことが伝わるような、よどみのないきっぱりとした口調で読む。

問五——④「歯切れのいい話し方に戻った矢地」とありますが、矢地が「歯切れのいい話し方に戻った」のは、なぜですか。その理由

を六十字以上七十字以内で説明しなさい。

問六 —— ⑤「矢地が六花よりも彩香に学級委員をやらせたがっているのは、見ていればわかった。」とありますが、これに関して、この

物語を読んだ中学生たちの会話を読み、設問に答えなさい。

生徒 A 「改めて学級会の場面を読むと、たしかに、矢地先生が六花よりも彩香（＝武井）に学級委員をやらせたがっていたのは明らかだよね。」

生徒 B 「そうね。最初に六花が立候補したとき、『ひどく驚いた様子の矢地は、すぐに晴れやかな笑顔に切り替えた』とあるけど、この部分の『 1 』という表現からは、その時の笑顔が『作り笑い』だったことが読み取れるよ。」

生徒 C 「それに、六花が立候補したのにすぐに決定しないで、なおも、ほかの女子に呼びかけているしね。」

生徒 A 「そのとき先生は『にこやか』な笑顔を見せているけど、それに続く『 2 』という表現からは、内心では、六花の立候補を歓迎していたわけではないことが読み取れるよね。」

生徒 B 「それに比べると、同じ笑顔でも、彩香（＝武井）が立候補したときの『 3 』という表現は極めて対照的だよね。」

(1) 『 1 』に入る言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア ひどく驚いた      イ すぐに      ウ 晴れやかな      エ 切り替えた

(2) 『 2 』に入る言葉を、本文中から五字以内でぬき出しなさい。

(3) 『 3 』に入る一文を本文中に求め、最初の五字をぬき出しなさい。

問七 —— ⑥『『そういうところあったんだ、私』とありますが、ここから読み取れる「六花」の心情の説明として、最も適当なものを次

から選び、記号で答えなさい。

ア 歩けなくなる前の自分だったら、クラス内のできない人の分まで何でもこなして、矢地先生からあのような扱いを受けることはなかったはずなのに、悔しさをかみしめている。

イ 歩けなくなる前の自分は、同じクラスに障がい者がいなかったせいで多くの誤解をしていたが、矢地先生のふるまいを見て、二度と障がい者に悲しい思いをさせまいと心に誓っている。

ウ 車いすユーザーになる以前の自分は実力主義で、障がい者の存在自体が邪魔なのだと思いつけていたが、自分が矢地先生から同じように扱われて、それは誤りだったと深く後悔している。

エ 車いすユーザーになる以前は、自分自身も障がい者に対する理解が不十分だったことを振り返り、矢地先生から受けた扱いは仕方がないことだったのだと心静かに受け止めている。

## 問八

——⑦『私はこれを個性とは言わないでほしい』とありますが、「六花」が自分の障がいを「個性」と言わないでほしいと思っ

るのなぜですか。その理由の説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア「個性」という肯定的な言葉で表現してしまうと、現実には健常者のようには扱ってもらえない障がいの否定的な側面が見えなくなってしまうから。

イ「個性」という言葉を障がい者に対して使うと、障がいをポジティブにとらえようとする話し手の意図があらさまになり、かえって相手を傷つけてしまうから。

ウ「個性」という言葉でひとくくりに表現してしまうと、障がい者一人一人が抱える、それぞれに異なる問題や思いが感じ取れなくなってしまうから。

エ「個性」という言葉で人を分類してしまうと、健常者も障がい者も本来同じ人間で違いはないはずなのに、両者の隔たりを逆に広げてしまうから。

## 問九

この物語の内容や表現の特徴を述べた次の説明文の中から、**適当でない**ものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 物語は、主人公である「伊澄」の視点を通して描かれているため、地の文に、彼の心の中のつぶやきがそのまま表現されている箇所がある。

イ 「六花」と「彩香（＝武井）」のことを、「澄んだアルトの声」、「やわらかいソプラノ」のように、声の高さを表す音楽用語を用いて表現することで、それぞれの個性を印象づけている。

ウ 「伊澄」も「六花」も、第一印象はお互いに決して良いものではなかったが、いくつかの出来事を通して、それぞれが相手の内面に触れ、次第に理解を深め合っている。

エ 車いすユーザーである「六花」の悲劇性をことさらに強調して描くことによって、障がい者に優しい社会を築いていくべきだというメッセージを読者に訴えている。

三

次の①～⑧の——部のカタカナを漢字になおし、⑨～⑫の——部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

- ① 庭に薬をサンプする。
- ② 受験勉強にセンネンする。
- ③ 車のモケイを作る。
- ④ 交通キノクを守る。
- ⑤ 息子のフンキを期待する。
- ⑥ 保育園に本をテイキヨウする。
- ⑦ 火事のケイホウになる。
- ⑧ 糸をていねいにタバねる。
- ⑨ 高波が打ち寄せる。
- ⑩ 兄は再来年、卒業する。
- ⑪ 時代の潮流におされる。
- ⑫ いすのねじが外れる。

